

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 豊後大野市 (都道府県: 大分県)
 本事業の担当部局名 まちづくり推進課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	重点メニュー				
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組				
個別事業名	豊後大野市婚活支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	事業開始年度	令和 3 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	3,000,000				円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題)※全事業共通 本市の人口の自然動態をみると、一貫して死亡数が出生数を上回っており、自然減が続いています。出生数の推移をみると減少傾向にあり、死亡数は高齢化を背景に緩やかな増加傾向にあり、自然減は直近3年では500人前後となっています。一人の女性が生涯に産む子どもの平均人数を示す合計特殊出生率は、平成30年から令和4年の5年間の平均は、大分県平均1.53を下回る1.34となり、近年は県内市町村で下位に位置しています。また、結婚の状況については、男女ともに未婚率は年々高まり晩婚化が進み、特に男性の未婚率は県平均を上回っています。 このような状況から、本市では、第2次豊後大野市総合計画後期基本計画を令和2年度に策定し、「豊かな福祉社会の実現を目指すまち」を政策目標に掲げ、結婚・出産・子育て支援の充実のための取組を行っています。				
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通 本市においては、出会い・結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援をするため、婚活支援事業をはじめ、子ども医療費助成事業(0歳から高校生までの医療費助成)、地域子育て支援拠点支援事業(親子の交流を図る場の提供)、地域子育てサポート事業(登録した会員による子育てのお手伝い)、放課後児童健全育成事業(放課後や長期休暇中における小学生への適切な遊びと生活の場の提供)、ひとり親家庭の支援や障がいのある子の支援等幅広い取組を行っています。平成31年度には妊娠から子育て期にわたる総合的相談や切れ目のない支援をさらに強化するため、子育て世代包括支援センター「きらきら☆」を設置しています。また、子供たちの教育の中で、ふるさとの魅力を伝え、ふるさとを愛する心を育むためのキャリア教育を推進しています。				
	<本個別事業の位置付け> 豊後大野市においては、結婚を希望する独身男女に様々な情報や出会いを提供し、婚姻数が増加することを目指し ①個別相談の対応 ②婚活サポーターの養成 ③婚活サポーター同士の交流・情報交換 ④婚活イベントの開催 といった、総合的取組を展開することとしている。				
(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 令和5年度は婚活サポーターの育成のために研修会や交流会等を行った。以前は婚活イベントは見学だけだったが、令和5年度は婚活イベントを企画し、イベントの運営の手伝いをする事ができた。婚活イベント等に参加したことで、婚活サポーター同士の連帯感が生まれつつあるが、婚活サポーターの中で参加してくれる人が固定化していることは課題である。特定の婚活サポーターに負担がかかることが懸念されるため、新規の婚活サポーターの養成が必要である。 また、婚活イベントでは、結婚を希望するがなかなかうまくいかない人が多く存在するため、マッチングできなかった人へのフォロー体制の構築や新たな出逢いの場の創出が必要のため、婚活イベントの開催を増やすと共に、婚活サポーターがフォローや支援をするように取り組む。 また、県が主催する婚活支援者等ネットワーク情報交換会において、本市サポーターに出演してもらい、婚活支援における現場の生の声を共有する機会をつくることで、サポーター自身のモチベーションを高めるとともに、他自治体への事例共有、気運醸成にもつなげることとしている。 婚活サポーターが多くの役割を担っていくことで、自立した組織になるよう目指していく。					
個別事業	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	個別相談ホットライン開設	・相談者がいつでも相談できるように相談窓口(ホットライン)を開設する。		○
2	婚活サポーターの養成	・婚活サポーターを新規で養成する。 ・新規の婚活サポーターのために養成講座を2回開催する。 ・結婚相談者に対するサポートを充実させるため、より多くのニーズに対応できるように婚活サポーターを増員する。		○	

の内容
※(注)3

3	婚活サポーター同士の交流研修会及び情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> 豊後大野市の婚活サポーター同士の交流会及び情報交換会を年2回ずつ開催する。 交流研修会のうち1回は、他市等に研修に行つてスキルアップを図る。 婚活サポーター同士の繋がりを強化することで活動の機運醸成を図る。 婚活サポーターで情報を共有することで、婚活希望者に出逢いの場の機会を創出する。 		○
4	婚活サポーターによる婚活イベントの企画	<ul style="list-style-type: none"> 婚活サポーターが婚活イベントの企画を行うため、企画会議を5回開催する。 婚活サポーターが婚活イベントの企画段階から参加し、イベントの準備やイベント後の婚活希望者のフォローに繋げる。 		○
5	婚活サポーターへのスタッフジャンパーの配布	<ul style="list-style-type: none"> 婚活イベントの際に着用するジャンパーを配布する。 婚活イベントの際に参加者に一目で婚活サポーターと認識してもらうことで、婚活イベントを円滑にすすめる役割をもたせ、その後の参加者へのフォローアップに繋げる。 	○	
6	婚活支援者等ネットワーク情報交換会への婚活サポーターの出演	<ul style="list-style-type: none"> 県が主催する婚活支援者等ネットワーク情報交換会に婚活サポーターが出演し、活動内容等の話をする。 出会いサポートセンターを運営する県や県内各自治体と密に連携し、情報の共有や気運醸成を図る。 	○	
7	婚活イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> 結婚を希望する男女に出逢いの場を提供するため、イベントを年5回開催する。 イベント時に出会いサポートセンターへの登録を促進する。 婚活サポーターによるイベント中のフォローやイベント後の支援。 		○
8	周知広報	<ul style="list-style-type: none"> 広報媒体として、チラシやSNS、市のHPで行う。 年間3回チラシを作成し、1回につき20,000部作成し、自治会での全戸配布、公民館や市役所へ設置する他、市内の事業所への配架をする。 		○
9	他自治体との連携	<p>事業実施に当たっては、大分県(本交付金活用)をはじめとした他自治体と連携して行う。(下記「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」とおり)</p> <p>また、下記協議会にて取組内容について共有を行う。</p> <p>協議会名:大分県婚活支援者ネットワーク会議</p> <p>構成メンバー:県、県内市町村、出会いサポートセンター等</p> <p>協議内容:地域の実情・課題や取組を共有し、少子化対策に関する地域における今後の取組全般(本交付金事業実施に係る評価検討及び結婚新生活支援事業の実施割合を面的に広げるための取組を含む)を総括的に協議する。</p>		
【次年度以降に向けた事業の方向性】				
<ul style="list-style-type: none"> 県と自治体等で構成する婚活支援者ネットワーク協議会における情報交換の内容も踏まえ、婚活サポーターのスキルを向上し、多角的に婚活を支援できるようにするとともに、組織的に自立して活動できるようにする。 				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】				
なし				

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
		合計特殊出生率の回復・向上(2025年まで)		%	1.72
	合計特殊出生率の回復・向上(2045年まで)		%	2.30	1.34(R4)
	婚活による成婚数		件	3.00	0(R4)
	5年後婚姻数推計値(令和7年まで)		組	105	105(R1)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
		合計特殊出生率		1.34(R4)	
		婚姻件数	件	69(R4)	
		婚姻率		2.1(R4)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	<アウトプット>ホットラインの相談者数	人	50	-
	2	<アウトプット>婚活サポーター登録者数	人	25	20
	3	<アウトプット>婚活サポーター養成講座の参加目標人数(計2回)	人	5人/回	-
	4	<アウトプット>婚活サポーター交流研修会及び情報交換会の参加目標人数(計4回)	人	10人/回	7人/回
	5	<アウトプット>婚活サポーター交流研修会及び情報交換会の参加目標人数達成率(計4回)	%	85	70
	6	<アウトプット>婚活イベント企画会議の参加目標人数(計5回)	人	10人/回	5
	7	<アウトプット>婚活イベント企画会議の参加目標人数達成率(計5回)	%	80	50
	8	<アウトプット>婚活イベントの参加目標人数(計5回)	人	28人/回	20人/回
	9	<アウトプット>婚活イベントの参加目標人数達成率(計5回)	%	85	75
	10	<アウトプット>HP・SNSでの発信数	回	24	24
		(アウトカム)			
	1	<アウトカム>相談の結果、イベントへの参加等婚活につながる何らかの行動につながった者の割合	%	90	100
	2	<アウトカム>婚活サポーター情報交換会に参加し、支援の行動を始めた者の割合	%	80	-
	3	<アウトカム>婚活サポーターの支援を受けた者の満足度	%	80	75
	4	<アウトカム>婚活イベントの参加を友人等に薦めたいと思った参加者の割合(満足度)	%	75	50
	5	<アウトカム>HP・SNSでの閲覧数	回	8500	8000
6	<アウトカム>引き合わせ成立数	組	15	12	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	県と県内自治体、OITA出合いサポートセンターで構成する婚活支援者ネットワーク協議会における情報交換を通じて、本市が重点としている婚活サポーターの活用に係る知見を蓄え、他自治体の事例も参考にしながら事業展開を進める。さらには、県が主催する婚活支援者等ネットワーク情報交換会において、本市婚活サポーターを出演させることで、サポーター活躍の機会を創出するとともに、他自治体へ取組内容の紹介をして、取組の横展開の可能性について模索する。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間事業者(具体的には、若者が集まる商業施設等)に対しても、チラシの配架を依頼する。				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。